



幸せの青い鳥

しあわせだより

H24.1月号 No.185



謹賀新年

旧年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。今年も昨年同様よろしくお願い致します。本年が皆様に幸多き年となります様お祈り申し上げます。

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
当社も創業27周年を迎えることができ、家主様及び入居者様には改めて心より感謝申し上げます。昨年度の大震災に於いては、全社員寝る間を惜しんで、住居を失った方のお役に立つ為に、限界までとにかく頑張りました。
今までに無い社会的使命感に対して、皆充実した疲れを感じたようです。しかしながら現在、全くの物件不足により、寒さにも耐えている被災者の方もおられるのには、心が痛みます。今年も経営理念の通り、住生活を通して、如何にしたらより良い社会貢献ができるか、勉強を重ねて参りたいと思っています。
本年も変わらぬご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。

平成二十四年 元旦
代表取締役 吉田 弘志



経営理念

1. 地域社会の住生活の満足度をより高める。
2. 資産家の収益の最大化を計り、資産価値をより高める。
3. 従業員の物心両面の幸せをより高める。

経営方針(中期経営ビジョン)

1. 顧客に感動を与える、より高付加価値サービスの提供。
2. 顧客へのさらなる満足の提供の為に、経営者及び従業員一同心を高め常に自らを磨く事に努める。
3. 常に感謝の気持ちを忘れず利他の心を持ち続け世の為人の為に誠実に行動する。

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は格別なご高配を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。本年も、より一層のご支援を賜りますよう、従業員一同心よりお願い申し上げます。昨年、東日本大震災においては、被災された沢山の方々へ住宅支援を行うことが出来ました。民間賃貸住宅の借上げ制度等を通じて、実に1,500世帯以上の応急仮設住宅提供を行った経験は、今後、我々の大きな財産になると確信しております。
私共は、「住」に関わる企業として、お客様の喜びや満足を感じて頂くために最大限の努力をばら、さらにいわき地域の発展・活性化に力を尽くして参りたいと思っております。
本年も何卒ご指導、ご支援を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

平成二十四年 元旦
統括部長 佐藤 浩次



プロパティマネジメント事業部よりご挨拶



PM事業部の関場淳介です。今年もよろしくお願い致します。昨年は大変な年となってしまいました。余波は今年にも及ぶでしょうが、それに負けない気持ちで頑張りたいと思います。そして素敵な年となる様努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

内郷・小島町担当
係長 関場 淳介



PM事業部の菅原です。本年もどうぞ宜しくお願い致します。昨年は大変な1年でくじけそうになりましたね。でも、季節ごとに花は咲き、実を結び、木々はお化粧をし、また春を迎える準備をしています。どんなに長いトンネルでも行き止りはないです。明るい出口が必ずあります。一緒に頑張らしましょう!!

神谷・四倉担当
主任 菅原 和江



明けましておめでとうございます。昨年は大変な年でした。電話が通じ皆様のお声を聞けたときはホッとしました。また人と人との絆を実感し感謝した年となりました。大変な日々が続きますが、日々感謝し皆様のお役にたてるよう頑張っ参ります。皆様にとって幸多き一年となりますように。がんばっぺ!! いゆき!

赤井・常磐・泉担当
主任 阿部 麻里



明けましておめでとうございます。PM事業部の櫻井朱美です。昨年は地震、原発、津波、風評被害と四重苦の中での1年。今年は苦しい中でも、いゆきが、皆様方が...希望を持ち明るく前向きな1年となります様に。仕事を通じて私も社会に少しでも貢献出来たらと考えております。

白土・愛谷・鎌田担当
主任 櫻井 朱美



明けましておめでとうございます。PM事業部の豊岡正樹です。昨年は、入社してまもなく震災が有り気がつくとも一年が経ってしまいました。本年も、いわき市の人口が増える可能性があり、満室の状態が続きますが、精一杯社会に貢献できる様頑張ります。今年も宜しくお願い致します。

いわき駅周辺担当
豊岡 正樹



明けましておめでとうございます。入社3年目を迎えました!! 昨年は例年と違った忙しさがありましたが、何とか乗り切れたように感じます。まだまだ未熟な部分もありますが、今年も自分に甘えず精一杯やり遂げたいと思っておりますので、どうか今年もよろしくお願い致します。

平・自由ヶ丘・郷ヶ丘担当
相田 義人



植田・錦・勿来担当
蛭田 紀子

遅ればせながら、新任の蛭田です!!

新任の
ご挨拶

あけましておめでとうございます。PM事業部の蛭田紀子です。震災後に前任者から引き継いでから、正式にご挨拶できませんでした。大変な年が明けまして、今年こそ穏やかな年でありませう様に願わすにはいられません。今、市内の物件には大家族が肩を寄せ合って暮らしています。安心して暮らせる住まいと愛する家族の存在が震災の傷を癒してくれと信じて今年も一生懸命頑張ります。